

静岡銀行の取引先支援への 取り組みについて

平成28年4月4日



SHIZUOKA BANK

静岡銀行

静岡銀行の取引先支援への取り組みについて

1. 静岡銀行グループの概要	2
2. 取り組みの概要		
(1) 基本スタンス	3
(2) 行内体制	4
(3) 地域密着型金融の全体像	5
(4) 地方創生への取組体制	6
(5) 行外との主な連携状況	7
3. ビジネスマッチング	8
4. 次世代経営者塾「Shizuginship」	9
5. 経営改善・事業再生支援等	10
6. 創業・新事業支援（しずぎん起業家大賞）	11
事例紹介～「しずぎん起業家大賞受賞先」への支援状況	12
7. 地方創生	13
8. 海外進出支援	14
9. 金融仲介機能の発揮状況（貸出残高の推移）	15

1. 静岡銀行グループの概要

基本理念 「地域とともに夢と豊かさを広げます。」

【しずぎん本部タワー（平成28年3月グランドオープン）】

設立	昭和18年 3月	静岡三十五銀行、遠州銀行が合併し、現在の静岡銀行設立【平成25年に創立70周年】
初の海外拠点	昭和57年 5月	ロスアンゼルス駐在員事務所開設（初の海外拠点：現在のロスアンゼルス支店）



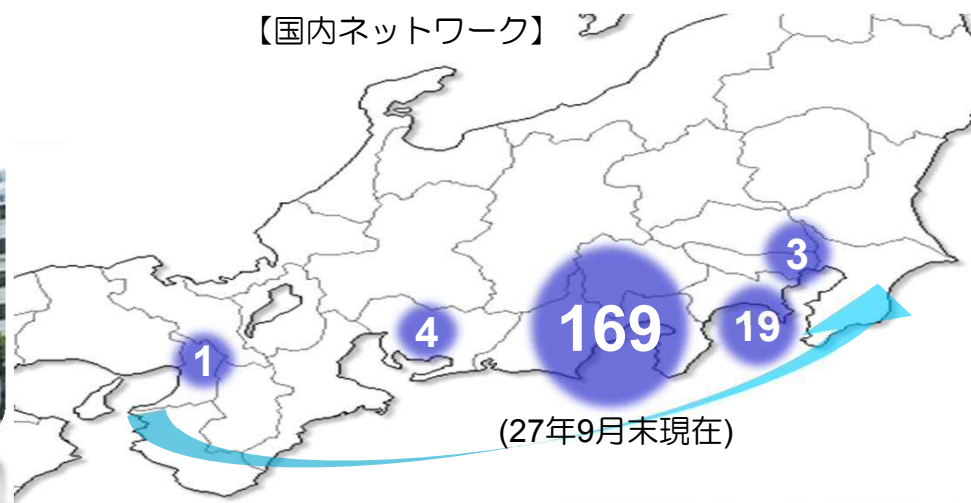
【概要（平成27年9月末時点）】

総資産（単体）	10兆9,558億円
総預金（単体）	8兆8,274億円（地銀第3位）
総貸出金（単体）	7兆4,248億円（地銀第4位）
従業員数	4,973名（グループ全体7,038名）
外部格付	ムーディーズ「A1」 S&P「A+」 R&I「AA」
拠点数	国内196（県内169、県外27） 海外3（LA・NY・HK）
連結子会社	12社（他に持分法適用関連会社3社）

【本店営業部】



【国内ネットワーク】



【シンボル・マーク】

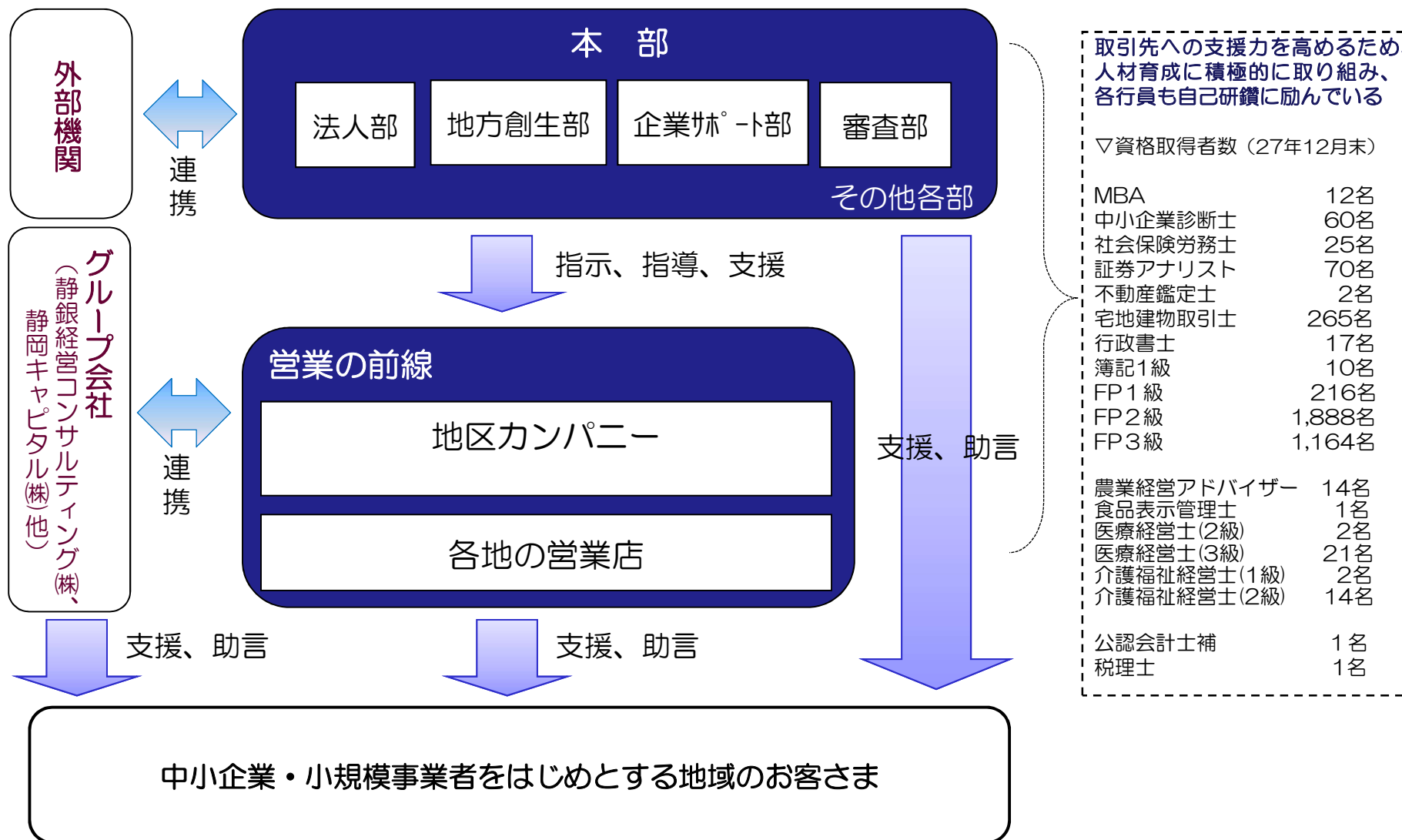


2. 取り組みの概要 ～ (1) 基本スタンス

- ① 静岡銀行では、企業理念に『地域とともに夢と豊かさを広げます。』を掲げている
- ② 政府が掲げる地方創生や、事業再生を含めた地域活性化に資する地域密着型金融は、ともに地方銀行である静岡銀行にとってビジネスモデルそのものであり、静岡銀行のサステナビリティ（持続可能性）の根源である
- ③ こうした認識のもと、中小企業、小規模事業者の支援をはじめとする、地方創生や地域密着型金融に積極的に取り組んでいる

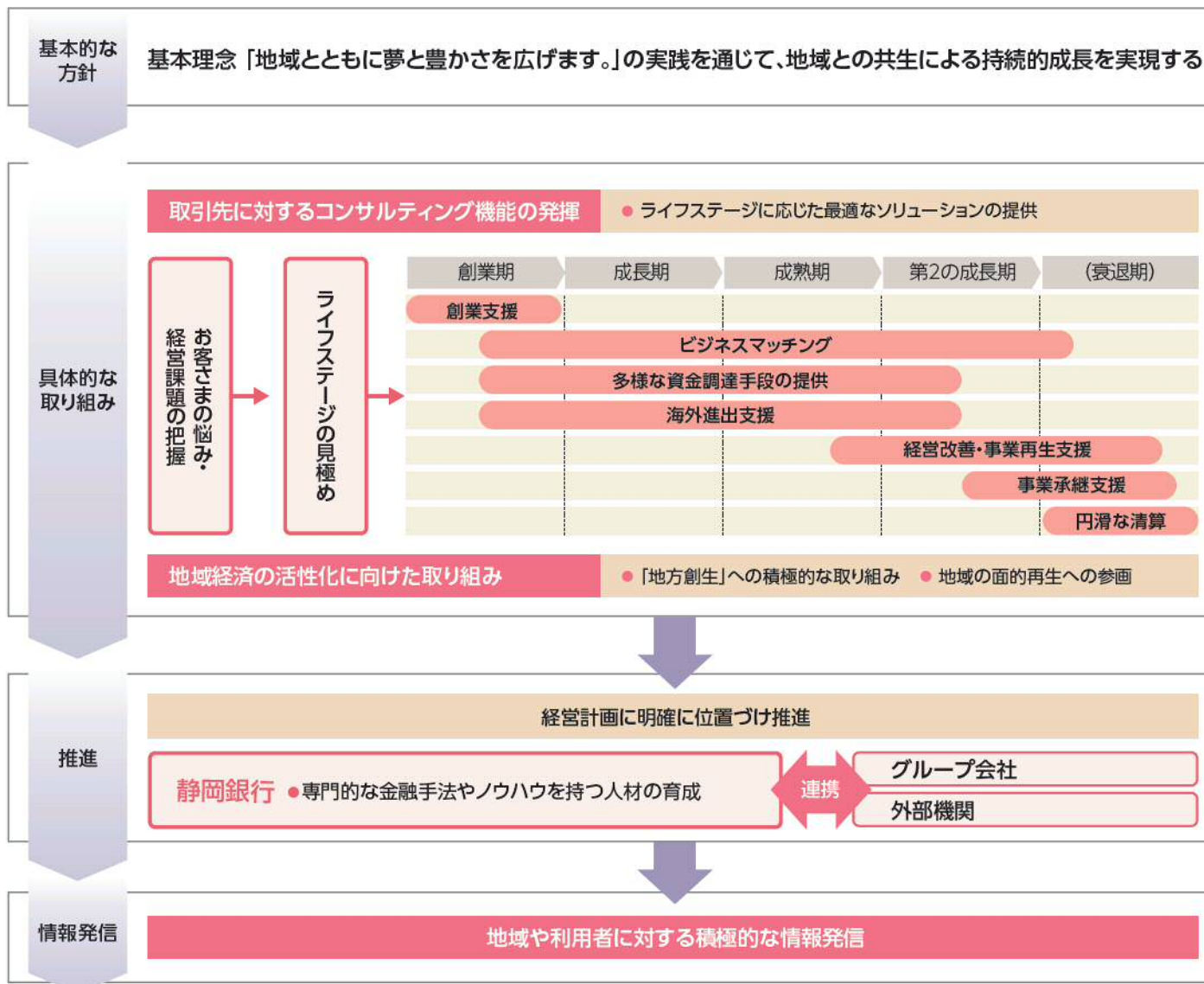
2. 取り組みの概要 ～ (2) 行内体制

地域金融機関の主たる取引先である中小企業を支援するため、各専門部署が密に連携する体制としている



2. 取り組みの概要 ～ (3) 地域密着型金融の全体像

地域密着型金融の全体像

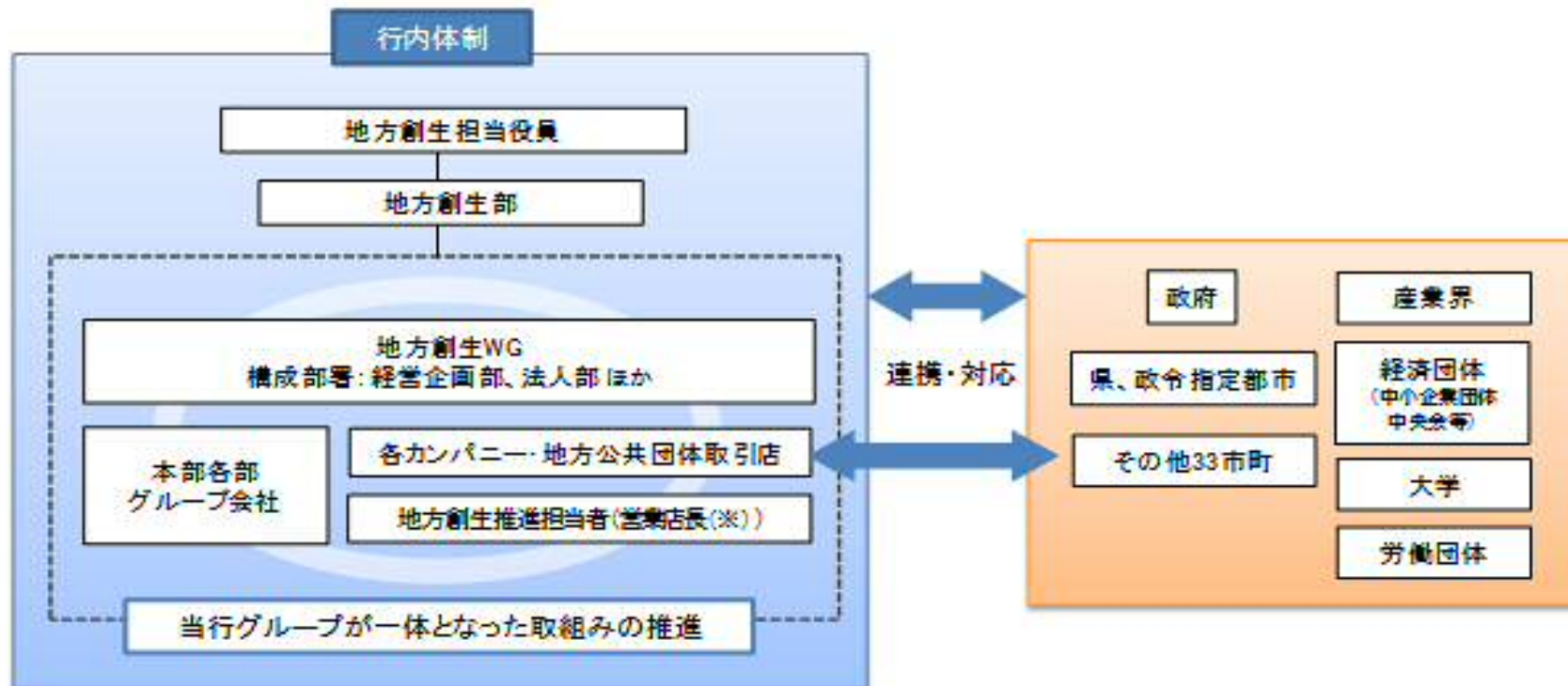


2. 取り組みの概要 ～ (4) 地方創生への取組体制

地方創生への取組体制

地域金融機関として地方創生へ積極的に関与し、より機動的な対応を図るため、27年6月に特任の「地方創生担当役員」の直轄組織として「地方創生部」を新設

これまで培ってきた様々な知見を活かし、地方公共団体、産業界、大学等と緊密な連携を図りながら、地方創生に関する取り組みに積極的に参画し、地域の活性化を目指す体制としている



※ 全店の営業店長(地方公共団体取引店以外の営業店長も含まれます)

2. 取り組みの概要 ～ (5) 行外との主な連携体制

①人材の派遣（出向）

(平成27年12月末現在)

派遣先	肩書き	担当業務
静岡県（産業戦略推進センター）	主査	アドバイザーボード対象企業選定調査等
浜松市（産業部産業振興課）	なし	企業立地支援
静岡商工会議所（中小企業再生支援協議会）	統括責任者	企業再生支援
浜松商工会議所	専門員	経営革新計画申請、資金調達、創業・起業等の支援
公益財団法人静岡県産業振興財団	主査	経営革新計画申請支援
公益財団法人静岡産業振興協会（SOHOしずおか）	マネージャー	創業・起業支援
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	経営コーディネーター	創業・起業、各種補助金申請等の支援
浜松まちなかにぎわい協議会	なし	中心市街地活性化支援

②人材の供給（当行退職者）

静岡商工会議所（静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点）、静岡県事業引継ぎ支援センター、関東経済産業局静岡県よろず支援拠点、静岡市産学交流センター、富士市産業支援センター（f-Biz）

3. ビジスマッチング

- 充実した店舗ネットワークと情報網を活用した販売先・仕入先の紹介、各種商談会への出店支援など、お客さまの業容拡大を支援しており、特に当行の特徴的な支援策として、農林水産業者・食品加工業者と仕入企業との商談会である「しずぎん@gricom」を毎年開催している
- ビジスマッチングに際しては、お客さまを単に引き合わせるだけでなく、アフターフォローを徹底し、お客さまの営業成果に結びつけていくことが重要と考えている

しずぎん@gricom

- 18年2月から農林水産業者、食品加工業者と仕入企業との商談会「しずぎん@gricom」を定期的で開催

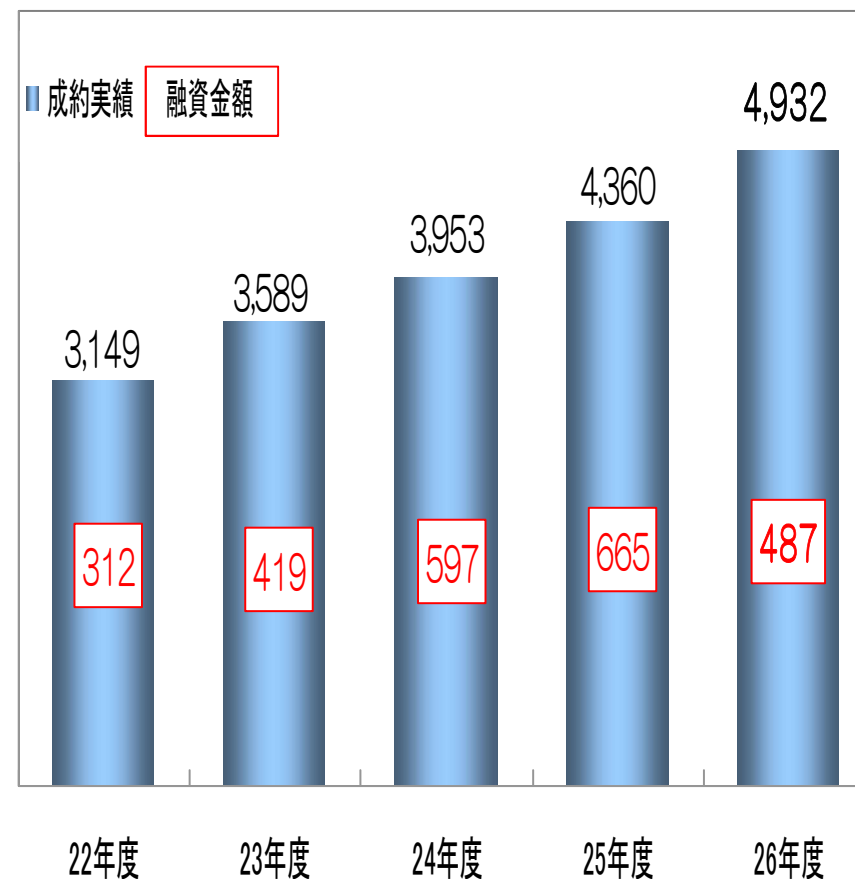
【第12回「しずぎん@gricom」(27年8月開催)】

食品を商材にもつ生産者・加工業者58社が出展し、約800名(うちバイヤー約400名)が来場し商談を実施
⇒ 6件の商談成立



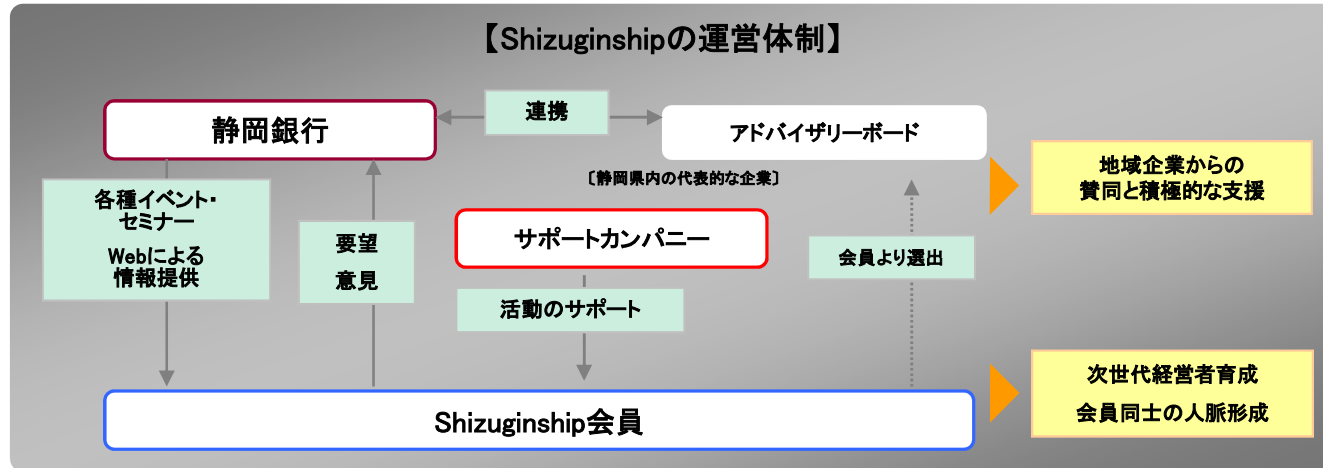
【成約件数の推移】

(件、億円)



4. 次世代経営者塾「Shizuginship」

- 次世代を担う若手経営者に「研鑽」と「交流」の場を提供する会員制サービス（平成19年4月発足）
 - 静岡県を代表する企業がサポートカンパニー※として参画、運営面では講師派遣や視察受入など、地域一体となった後継者育成に取り組んでいる
- ※ スズキ(株)、ヤマハ(株)、ヤマハ発動機(株)、矢崎総業(株)、鈴与(株)、スター精密(株)、静岡鉄道(株)、静岡ガス(株)、静岡大学など 計19団体



【主な歴代講師】

スズキ(株) 代表取締役会長	鈴木 修 氏
スター精密(株) 代表取締役社長	佐藤 肇 氏
前 (株)ローソン 代表取締役CEO	新浪 剛史 氏
前 日本銀行総裁	白川 方明 氏
(株)星野リゾート 代表取締役社長	星野 佳路 氏
(株)野村総合研究所 チーフエコノミスト	リチャード・クー 氏

<平成27年度の主な活動実績>

【会員数】平成27年12月末：824社／1,238名

内容	開催実績
フォーラム	3回
セミナー (著名な経営者や専門家による講演会)	10回
ゼミナール (テーマ別に連続開催する講座)	全26回
・エグゼクティブプログラム	8回
・ミドルマネジメントプログラム	4回
・ベーシックプログラム	14回
視察	1回

【MBAエグゼクティブプログラム（最上級プログラム）】

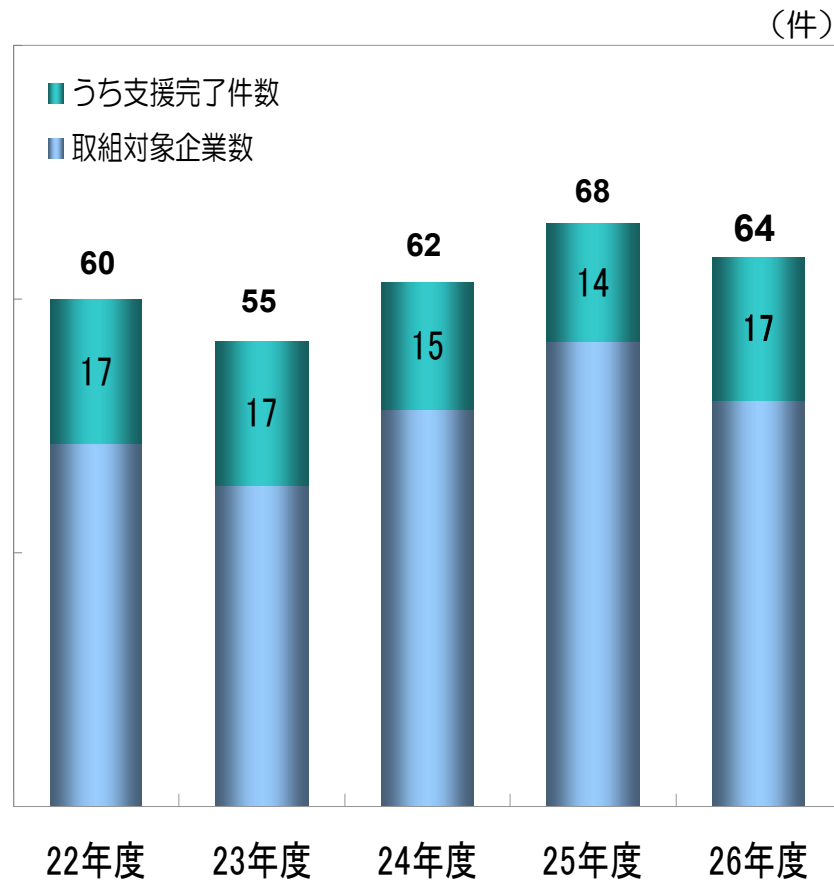
- 早稲田大学ビジネススクールの現役教授陣を迎え、高度で幅広い視野に立ったトップマネジメントの習得を目的としたプログラム



5. 経営改善・事業再生支援等

- 経営改善・事業再生支援や事業承継支援を通じ、地域の産業基盤と雇用を維持
⇒ 地域金融機関として果たすべき重要な「使命」
- 地域経済に大きな影響を及ぼす企業等を守るため、外部機関との連携や事業再生ファンド等の活用により再生を支援

【事業再生支援取組実績の推移】



※25年度、26年度は、暫定リスケ先各1先を除く

- M&Aなどの手法に加えて、事業再生計画の作成や外部機関との連携、事業再生ファンドなどの活用により再生を支援
- 平成17年度以降の取組みで約**170社**の事業再生を完了

地域の雇用約**14,000人**を確保
⇒ 地域経済の活力を維持

経営改善・事業再生支援への取組み (27年12月末迄累計実績)

経営改善に取り組む先へのプロパー融資制度

当行と連携し、経営改善・事業再生に真摯に取り組む取引先を対象に、事業に必要な資金を供給

経営サポート資金 133件/ 3,544百万円

ターンアラウンド資金 331件/10,451百万円

合計 464件/13,995百万円 (累計実績)

転・廃業支援への取組み

構造変化への対応が困難な取引先企業に対する業態転換・廃業支援（転・廃業支援）についても、経営改善・事業再生支援と併せて取り組んでいる

24年度を取組開始以降、26年度までに38件の転・廃業支援に取り組み、13件を完了。平成27年度上半期は44件の支援に取り組み、廃業4件・転業1件の支援を完了

6. 創業・新事業支援（しずぎん起業家大賞）

- 革新的・創造的な事業に取り組む起業家を表彰する『しずぎん起業家大賞』を実施している

しずぎん起業家大賞

目的	革新的な事業プランを持った起業家を表彰し、事業の成長をサポートすることで、地域経済の活性化に貢献する
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去4回の開催で、559先の応募から27先を表彰 ・ 27年度の第4回受賞企業7先に対しては4月5日(火)に、受賞式を開催予定 ⇒ 販路開拓、各種コンサルティングなど、グループ機能を最大限に活用し、事業の成長を積極的にサポート
金融支援実績	新規融資：25件/360百万円 出資：6件/147百万円

【第3回しずぎん起業家大賞 表彰式（平成27年4月）】



最優秀賞受賞者のスピーチ

● 平成27年度（第4回）受賞企業7社

最優秀賞	：株式会社トコ-	
優秀賞	：リンクイズ株式会社	株式会社森守
	有限会社ヤマカ水産	株式会社ナシ
女性起業家賞	：株式会社ミカド・ポレシヨ	
新人賞	：株式会社杉山製作所	



受賞者記念撮影

事例紹介～「しずぎん起業家大賞」受賞企業への支援状況

- 新しい時代を切り拓くフロントランナーとして、革新的・創造的な事業に取り組む起業家を顕彰すると同時に、各々の事業プランの実現に向けて、静岡銀行グループがソフト・ハードの両面から支援し、地域経済の将来を担う存在として、その成長を促進する

第3回「新人賞」受賞企業：株式会社VILLAGE INC

所在地：静岡県下田市

会社設立：平成24年2月

ビジネスプラン：地域資産の恩恵を活かした「場」を創造する
“VILLAGE”事業

受賞理由：地域の観光資源を活用し、キャンプ場等の
「非日常空間」を提供



【写真提供 (株)VILLAGE INC】

受賞企業の特典と静岡銀行の支援状況

【特典】事業奨励金20万円支給、静岡銀行グループによる事後支援

静岡銀行グループの各種支援

- 静岡銀行と(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)等と協働で設立した「しずおか観光活性化ファンド」の第1号投資案件：平成28年1月に80百万円を投資
- 販路開拓等のバックアップ(ビジネスマッチングの実施) など

受賞先企業だけではなく、過去実施した「しずぎん起業家大賞」に応募いただいた全ての企業に対して、事後サポート・フォローを実施している

＜全応募者への支援策＞

事業計画のブラッシュアップ、各種セミナー・商談会の紹介や販路開拓支援等を随時実施

7. 地方創生

- 地域金融機関として地方創生に積極的に関与し、より機動的な対応を図るため、平成27年6月より「地方創生部」を設置
- これまで培ってきたさまざまな知見を活かし、地方公共団体、産業界、大学等と緊密な連携を図りながら、地方創生に関する取り組みに積極的に参画し、地域の活性化を目指す

創業支援への取組み

創業支援デスク (地方創生部内に設置)

県内商工会議所等と連携して、創業支援をスキル・情報の両面からサポート

しずぎん起業家大賞 (計4回実施:応募559先から27先を表彰)

起業家の発掘・育成を目的として開催し、事業の成長を積極的にサポート

「ものづくり補助金」2次採択件数 地方銀行トップ

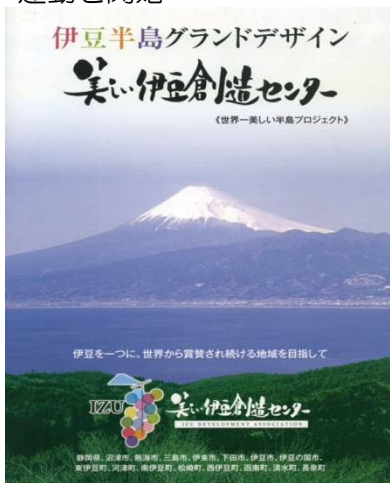
取引先の補助金申請において、計画策定等を積極的に支援
中小企業庁発表「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の

平成26年度2次採択件数：107件 (地方銀行トップ)

※全体では商工中金に次いで第2位

あいさつ運動の展開

- 正式名「世界一美しい伊豆半島プロジェクト あいさつ運動」伊豆地域全体で、観光に訪れるお客さまへの“あいさつ”を通じて“おもてなし”の気持ちを浸透させる運動
- 平成27年9月より「伊豆半島あいさつ運動実行宣言」を公表し、運動を開始



【あいさつ運動を、「美しい伊豆創造センター」の目的である“伊豆をひとつに”の起爆剤とする】

地方創生全体会議の開催

- 平成27年9月25日、日本創成会議の増田寛也座長、牧之原市の西原茂樹市長を講師に迎え、静岡県内全ての地方公共団体の地方創生担当者が参加する会議を全国で初めて開催 (総勢470名が参加)
- しずぎん本部タワーと国内営業店171店舗をテレビ会議システムを通じて実施



【地方創生全体会議の様子】

8. 海外進出支援

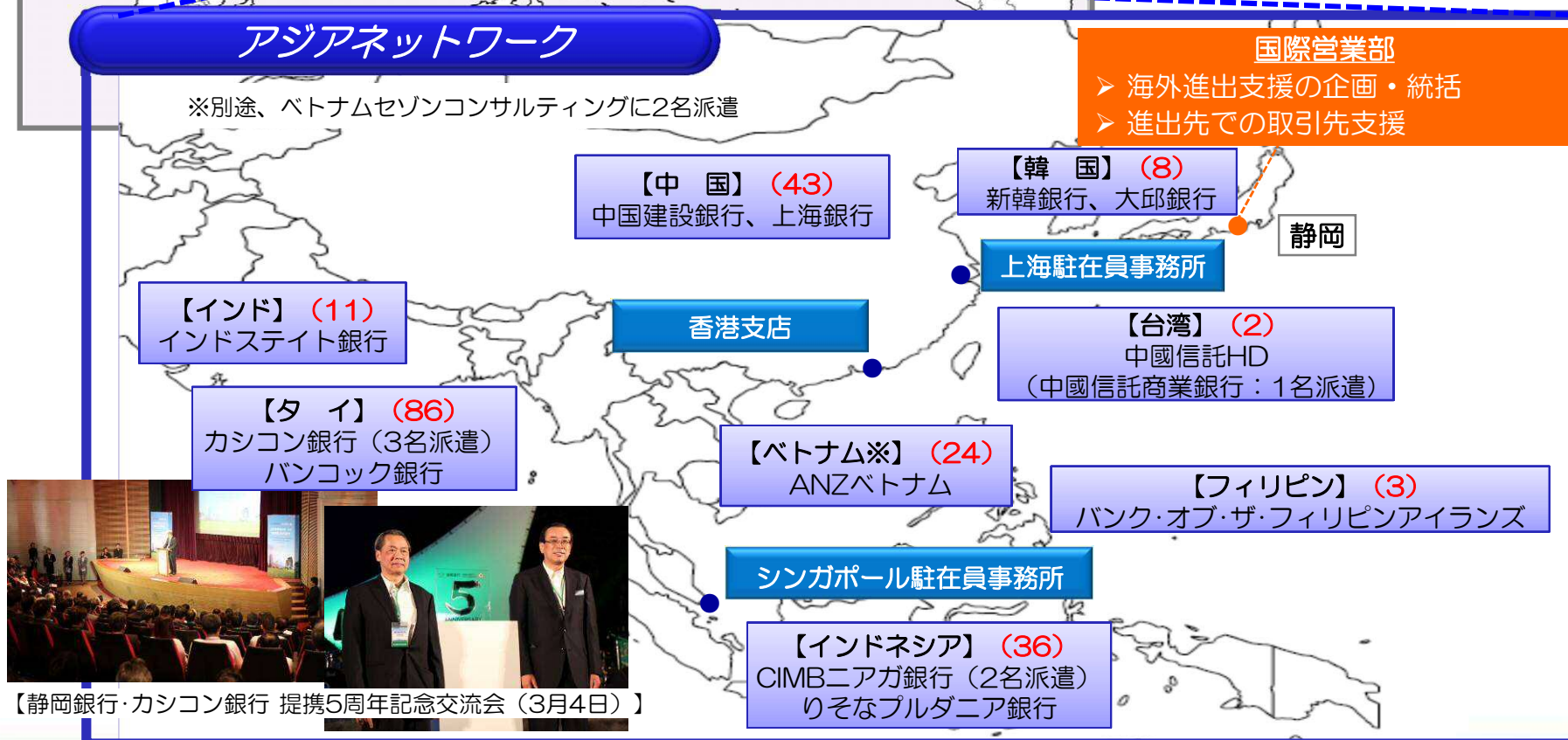
- 海外3支店、2駐在員事務所、1現地法人を設置し、総勢57名のスタッフがお客さまを支援
- アジアにおいては、8つの国と地域で12行の現地金融機関と業務提携
- 人材育成面では1980年代より、米国MBA、中国語学留学、メガバンク海外拠点などへ継続的に派遣

海外ネットワーク



アジアネットワーク

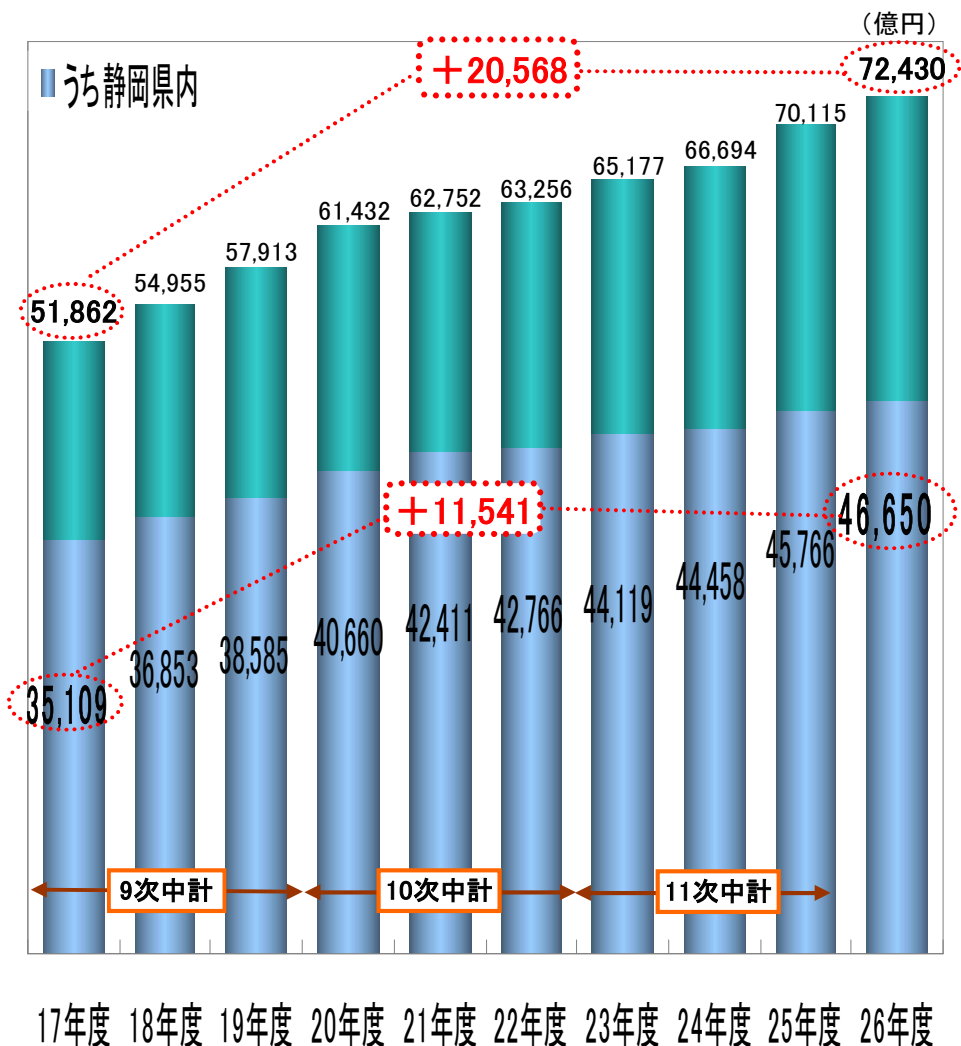
※別途、ベトナムセゾンコンサルティングに2名派遣



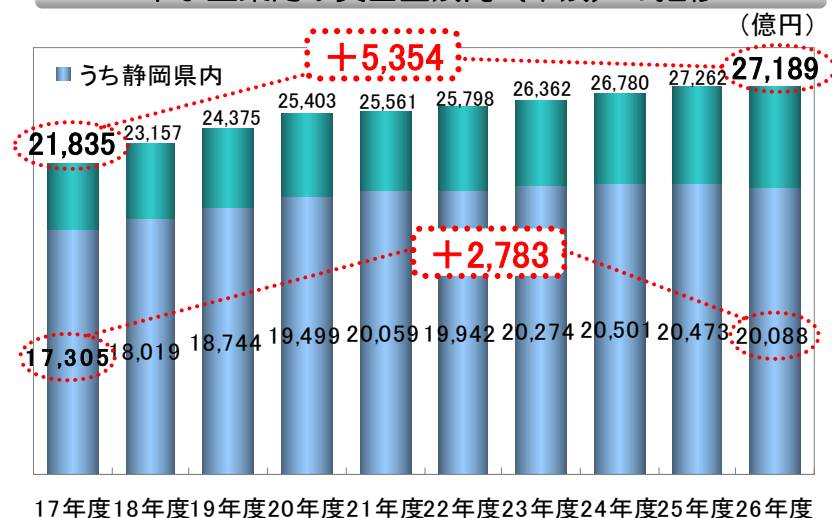
9. 金融仲介機能の発揮状況（貸出残高の推移）

- 17年度から10年間で貸出金平残は+2兆568億円増加（中堅クラスの地方銀行1行に相当）
- 中小企業向け貸出金平残は+5,354億円増加、消費者ローン平残は+1兆121億円増加

総貸出金平残の推移



中小企業向け貸出金残高（平残）の推移



消費者ローン残高（平残）の推移

